

大会 1 日目 3 月 23 日(月)

成瀬記念講堂	11:00-12:30 映画上映 「心理学者原口鶴子の青春」	13:00-15:00 CS1 「臨床発達心理学」の構築に向けて
	15:30-18:00 KL 成人の認知発達についての縦断研究:パラダイム転換と実証研究の知見	
新泉山館	10:00-12:00 AS1 我が国における成人発達研究のこれから	
百 201	10:00-12:00 S1-1 保育園児の行動観察－発達研究におけるその有効性を考える－	13:00-15:00 WS1 初年次教育における教育目標とそれを達成する方法論
百 202		S2-2 子どもをとりまく環境はこれでいいのか－発達と教育の視点から－
百 203	S1-3 フィールド観察データの構造化(1)－マイクロとマクロをどうつなぐか－	S2-3 「遺伝と環境」から紐解く人間の行動発達
百 204		S2-4 情意機能と認知機能研究の対話－相互浸透と生涯発達の視座を目指して－
百 206	S1-5(AS2) 時間論の視点から発達の問題を再考する－自己・他者関係の中から立ち現れる時間－	S2-5 認知科学への生態学的アプローチから発達障害(自閉症)の知覚情報処理・認知システムを問い直す－環境との相補性欠如 増え続ける「触れない子どもたち」－
百 207	S1-6 愛着理論と心理臨床	S2-6 自閉症児支援への発達論的アプローチの新展開－「身体の同期」、「意図の共有」、「情動の共有」の観点から－
百 209		S2-7 コミュニケーションの発達基盤と支援－乳幼児期から児童期にかけて－
百 301	R1-1 子どもに責任はあるか？ 養育者－子ども間相互行為における資源としての「応答」	R2-1 対象操作にもとづく比較認知発達スケールの作成
百 302	R1-2 教育テレビ 50 周年を迎えて－教育テレビが果たしてきた役割と個別視聴時代への対応－	R2-2 心理職と保育現場の連携による発達支援－事例報告による検討－
百 304	R1-3 特別なニーズのある人における生涯発達支援に求められる枠組Ⅳ－多領域の専門性を総合した支援実践に向けて－	R2-3 幼児期の英語学習の意義を考える:2 年間の「言葉のプロジェクト」の成果から
百 305	R1-4 宗教性発達研究の展開(2)－日本人の宗教性発達を考える－	R2-4 「語用論発達の実験的検討:定型・非定型発達の両側面から」
百 306	R1-5 女性の月経が必要ないと考えられる時－その有用性を不要論から検討する－	
百 307	R1-6 乳幼児発達の知見が小児がん医療に貢献できること	
百 501・502・503	12:00-13:00 個別相談会(501・502)、説明会(503)	
70 年館 2 階	10:00-12:00 ポスター発表 P1 (在席責任時間 奇数番号 10:00-10:50 偶数番号 11:00-11:50)	13:00-15:00 ポスター発表 P2 (在席責任時間 奇数番号 13:00-13:50 偶数番号 14:00-14:50)
	15:30-17:30 ポスター発表 P3 (在席責任時間 奇数番号 15:30-16:20 偶数番号 16:30-17:20)	

大会 2 日目 3 月 24 日(火)

成瀬記念講堂	11:00-12:30 MS1 日本発達心理学会の 20 年の歴史と今後の発展	13:30-15:30 MS2 日本発達心理学会の、世界そして他分野との交流を模索
	12:30-13:30 総会	18:00-20:00 一般公開 講演「原口鶴子に魅了されて」 映画上映「心理学者原口鶴子の青春」
新泉山館	12:30-14:30 講演「発達・教育心理学史の中の原口鶴子」 映画上映「心理学者原口鶴子の青春」	
百 201	9:00-11:00 S3-1 アイデンティティの生涯発達における「個」と「関係性」をどうとらえるかー理論的再考と実証研究の方向性ー	15:30-17:30 WS2 ウェクスラー知能検査の展望
百 202	S3-2 人の「共に生きるかたち」をどのようにとらえ、かかわるのか(6)ー現場を生きる者から見た言語や発達臨床現場のかたちー	S4-2 言語獲得期の発達
百 203	S3-3 養育者の目に映る乳幼児の心の世界ー養育者の主観的認知の多様性と子どもの発達ー	S4-3 語の理解への道 ー基盤を築くー
百 204	S3-4 生殖医療と家族の発達:非典型的な家族を生きる(1)医療現場で何が起きているか	S4-4 発達障害児のアセスメントと二次形成的アプローチ ー自我構造の評価と個別支援・教育支援および家族支援によるー
百 206	S3-5 教示行動の発達 その進化的基盤	S4-5 「心の理論」の獲得と実行機能の発達(3) ー障害児における関連を問うー
百 207	S3-6 動機づけ研究における質的研究 研究事例と方法的検討	S4-6 発達心理学と隣接する支援
百 209		S4-7 子どもの事故:その心理と行動
百 301	R3-1 若者の時間的展望に迫る ー臨床心理学と青年心理学の対話ー	R4-1 子どもの言葉の発達ー遊びの中のコミュニケーションー
百 302	R3-2 子どもの心的世界の虚構とリアリティ	R4-2 時代が隠すもの・現すもの(2)ーライフサイクルから見る生と死ー
百 304	R3-3 発達相談における心理的アプローチ ー発達に気がかりな子をもつ親の支援に焦点をあててー	R4-3 乳児期前半(0-6ヶ月)の子育ち親育ち再考
百 305	R3-4 特別支援教育における連携と支援の質を問う	R4-4 人生において出自を知ることの意味ー非血縁家族への発達支援を考えるー
百 306	R3-5 Piaget の認知発達理論を読み解く	R4-5 ヴィゴツキー理論の神髄ーヴィゴツキーシンポ(その 23) ー
百 307	R3-6 思春期の親子関係と子育て支援	R4-6 障害児・者の日本語文法理解力の評価 発達障害児・聴覚障害児・ウィリアムズ症候群の特質
百 501・百 502		
70 年館 2 階	9:00-11:00 ポスター発表 P4 (在席責任時間 奇数番号 9:00-9:50 偶数番号 10:00-10:50)	15:30-17:30 ポスター発表 P5 (在席責任時間 奇数番号 15:30-16:20 偶数番号 16:30-17:20)
生協食堂		18:00- 懇親会

大会 3 日目 3 月 25 日(水)

成瀬記念講堂	11:00-12:30 映画上映 「心理学者原口鶴子の青春」	13:00-15:00 CS2 保育・教育現場における臨床発達支援のすすめ方
新泉山館		
百 201	10:00-12:00 S5-1 育児研究が子育て支援に貢献できる道を探る	13:00-15:00 S6-1 保育者の保育ストレスと感情労働 保育者の“みたて・つもり・ごっこ遊び”へのかかわりを中心に
百 202		S6-2 境界事例や困難事例における社会・情動的発達支援 ー発達臨床の新しいヴィジョンさぐる。ー
百 203	S5-3 アーティストと保育者の協同を探る ー対立と学びの契機ー	S6-3 国内外におけるハイリスク家庭を中心とした子育て支援 ー予防と介入をめぐるー
百 204		
百 206	S5-5(AS3) 文化間移動から発達を問い直す ー乳幼児期から老年期までー	IL 招待講演
百 207		S6-6(AS4) 発達障害児のものの見方 注意の心理学課題からさぐる発達障害児の認知
百 209		
百 301	R5-1 児童生徒の「聞く・話す」力の育成・支援における発達の 観点ー典型発達児と発達障害児の「他者にわかりやすく 伝える」力の育成・支援のための連続的枠組の検討ー	R6-1 道徳性発達の最前線を知る
百 302	R5-2 「保育的観察」による子どもの社会性発達研究の可能性 を問うーコホート研究による 5~6 歳児の集団観察データ をもとにー	R6-2 ナラティブ・アプローチの意味を問い直す 研究者の暗黙のナラティブ理解の明示化を通して
百 304	R5-3 大学生の自己形成過程における保育実習の意義ー入学 期から実習の時期を中心にー	R6-3 諦観と晩年性 生涯発達心理学の新しい概念として
百 305	R5-4 発達の視点に立つ特別支援教育への対応	R6-4 ダイナミック・アセスメントと「媒介」概念の検討(2)ー関わり と変容ー
百 306		R6-5 人・物・ことの視点から遊びを探る 環境と相互作用する活動としての分析
百 307		
百 501・百 502	12:00-13:00 個別相談会	
70 年館 2 階	10:00-12:00 ポスター発表 P6 (在席責任時間 奇数番号 10:00-10:50 偶数番号 11:00-11:50)	13:00-15:00 ポスター発表 P7 (在席責任時間 奇数番号 13:00-13:50 偶数番号 14:00-14:50)
生協食堂		